

〈範囲で記録的な大雨〉

平成30年7月豪雨

2018年（平成30年）6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で発生した、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨。別称、西日本豪雨。

平成30年7月豪雨の概要

気象概要

台風第7号から変わった温帯低気圧が、7月5日には本州付近に停滞していた梅雨前線と一体化した。梅雨前線は、暖かく湿った空気が継続して流れ込んだ影響で、活動が非常に活発となった。この状態が、7月5日頃から8日頃まで続いたため、西日本から東海地方を中心に記録的な大雨となった。

被害状況

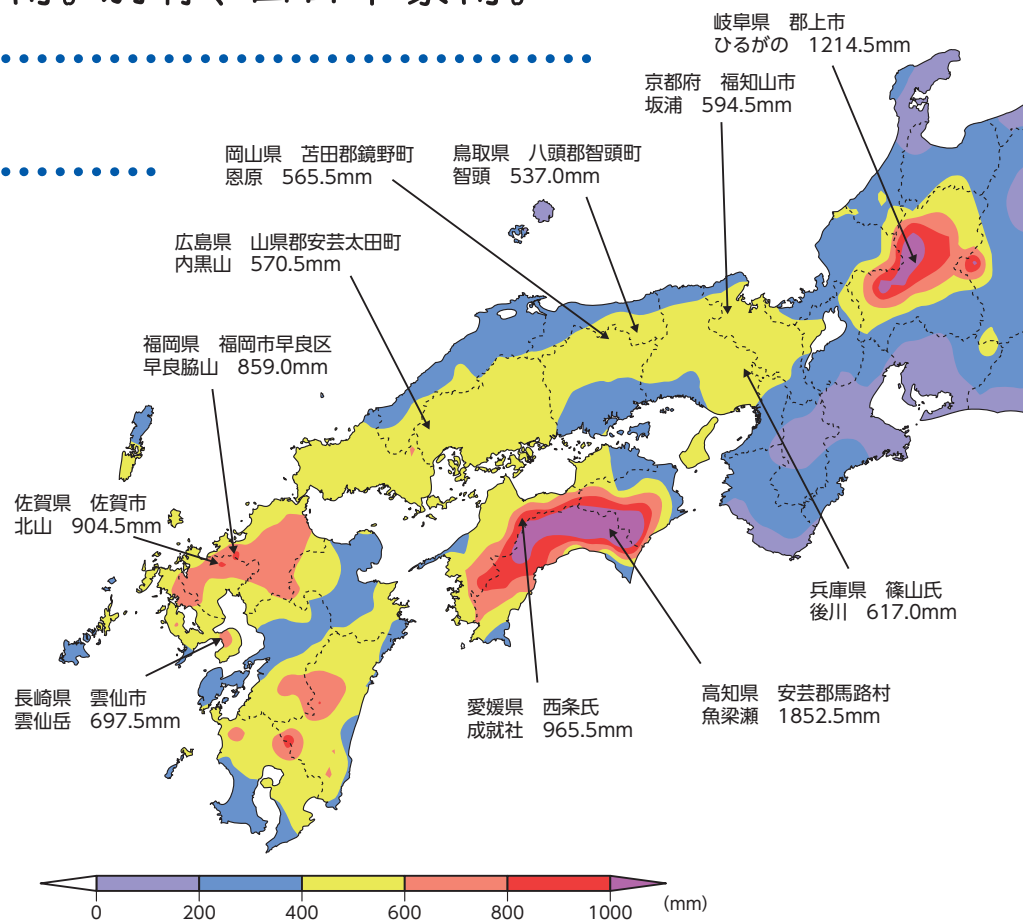
前線や台風第7号の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、1府10県に特別警報が発表されるとともに、各地で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、1府13県で200名を超える死者・行方不明者が発生するなど甚大な被害が発生。

電気、水道等のライフラインの被害のほか、道路、鉄道等の交通インフラにも甚大な被害が発生。

- 人的被害（11/6時点）：死者224名、行方不明者8名
- 家屋被害（11/6時点）：全壊6,758棟、床上浸水8,567棟
- 避難所避難者数：最大 約4.2万人（7/7時点）
- 電力：最大約8万戸停電（7/7時点）
- 上水道：総断水戸数 263,593戸
- 鉄道：最大32事業者115路線運転休止（7/7 5:00時点）
- 高速道路：最大17路線19区間被災による通行止め（7/8 5:00時点）

被害の特徴

平成30年7月豪雨は、近年、発生した水害・土砂災害としては、死者・行方不明者数が極めて多いことが特徴（一つの災害で死者・行方不明者が200人を超えたのは「昭和57年7月豪雨と台風10号」以来となる。）。



期間降水量分布図
(6月28日0時～7月8日24時)

※気象庁ホームページから作図
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2018/20180713/jyun_sokuji20180628-0708.pdf



道路の被害



浸水被害



鉄道の被害

写真出典：内閣府ホームページ
https://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigai_dosyaworking/pdf/sankosiry01.pdf